

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員

発行：2024年11月24日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3番8号 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



市民生活支える予算に!!

日本共産党
京都市議団

「予算要求書」提出

共産党京都市会議員団は、来年度予算編成に向けて、「3年連続黒字決算であることに鑑み、物価高騰などで苦しむ市民の暮らしへの支援を強化すること、京都市「行財政改革計画」のもと、市民負担の増大と市職員の削減、公有財産の売却などにより公共の役割を大



市民の願いが詰まった予算要求書を提出!!

きく後退させてきたことについて、計画の見直しと改善をおこなうこと、国の制度の不十分な点を補い、京都市独自の施策として、市民の暮らしを応援する予算とすることを求めます。」として、279項目にわたっての予算要望書を提出しました。相変わらず市長は受け取らず、総合企画局長が受け取りました。決算議会終了後の市長副市長の、各会派へのあいさつ回りの際に「ぜひ予算要望書を直接市長に受け取ってほしい」と市長に申し入れましたが受け取ることはありませんでした。ゆがんだ市政運営は正すべきです。

今すぐ「子ども医療費18歳まで無償化」「給食費の無償化」を

共産党市会議員団は、京都府内で最も遅れた子育て支援の現状打開のために、11月27日から始まる11月市会に、2つの条例を提案します。「子ども医療費18歳まで無償化」「給食費の無償化」です。子どもの医療費は、政令市の75%が18歳まで助成しています。給食費は全国の43%の自治体に広がっています。2つ合わせて50億円でできます。財源はあります。共産党だけではなく、一緒に提案しようとするすべての会派に働きかけて、実現していきたいと、市内全域を14人の議員が宣伝に回りました。



東部クリーンセンター跡地活用に関する市民意見が64件

京都市は、東部クリーンセンターの跡地活用を進めるため、民間業者に提案を求めています。9月30日現在19件の提案がありました。一方市民の意見を聞くべきとの声で募集した六地蔵から山科駅までの開発を進める「ミータス山科醍醐」計画には663件の市民意見が寄せられました。そのうち東部クリーンセンターの跡地活用に対しては「子どもからお年寄りまでくつろげる公園などの施設にしてほしい。」「コーヒーを飲みながらくつろげるスペースもあるショッピングモールみたいな施設を誘致してほしい。」「民間に売却することは反対であり、現在の老人保養センターも必要なので残してほしい。」「緑を残してほしい」など64件の意見がありました。市民意見はまだ出せます。ぜひ、多くの意見をお寄せください。市有地は市民の財産です。市民のために活用すべきです。



子育て支援学習会を開催

11月10日に「隠れ教育費」研究室/教育行政学者の福嶋尚子さんによる「給食費無償の意義と希望」と題しての学習会を行い、西野さち子が開会の挨拶をしました。

